

## 金沢大学留学生センター及び短期集中型日本語教育紹介

太田 <sup>あきら</sup> 亨 (金沢大学留学生センター)

### 入会に際し、まずは簡単な自己紹介から

私は 2008 年 10 月 23 日に専門日本語教育学会 (STJE) に入会したばかりです。会員諸氏の中には、既に私を「日韓プログラム」や、本日ご紹介する「アジア人財資金構想」との係わりからご存知の方もいらっしゃるかと推察しますが、私の本当の(?) 専門が「日本語・スペイン語・ポルトガル語間の対照言語学」と申し上げたら、「なぜそんなのが STJE に入るんだ!」と言われてしまいそうです。しかし、上記の二事業にどっぷりと浸かってしまったことが、紛れもなく私をして STJE に入会の決断をさせました。

### 次に金沢大学の紹介

次に、私の勤務する金沢大学 (以下、金大) について簡単にご紹介します。2008 年 5 月末現在の総学生数は 10,392 人、教員数 1,063 人、留学生 327 人で、日本海側に位置する基幹的な国立大学法人の一つです。2008 年 4 月からは学長が交代し、学士課程が「8 学部」→「3 学域 16 学類」へと大きく変革しました。

私が所属する留学生センターは専任教員が 9 名、うち日本語教育担当 5 名、短期留学プログラム担当 2 名、日本人学生の海外派遣担当が 1 名、相談指導担当が 1 名となっています。その中で、私は上述の「日韓プログラム」に 2000 年の立ち上げから携わり、2008 年度で第 9 期目を迎えています。

しかし、「留学生 30 万人計画」という声が聞こえ始めてから、私も日韓プログラムだけに携わっていれば良いという平和な時代は終わりました。そこで新たに係り始めたのが、「アジア人財資金構想・高度専門留学生育成事業 (以下、高度専門事業)」で、経済産業省と文部科学省がタイアップした事業です。アジアからの優秀な留学生を日本に呼び寄せ、日本の企業で働くための専門知識と日本語力を養成して、そのまま日本の企業に就職させるという、壮大なスケールのもので

### そして、高度専門事業の B J 教育

金大での高度専門事業は、大学院自然科学研究科博士前期課程に「高度専門 (技術・ビジネス) 留学生特別コース (以下、特別コース)」を新設し実施しています。私は、金大プロジェクトリーダー (工学部長) の下に三名配置された「専門プログラム開発リーダー」の一人で、「ビジネス日本語 (B J) 教育」等の実施責任者となっています。自ら志願してこのような要職に就いたわけでは決してありませんが、新しい事業が立ち上がろうとするとき、なぜか必ずと言ってよいほどその現場に立ち会う巡り合わせになっています。

### 特別コースの B J 教育

金大特別コースにおける B J 教育の特徴を一言で言えば、「短期集中型」B J 教育であると言えます。

特別コースの学生は、現在第 2 期生まで 9 名が在籍していますが、通常の博士前期課程が修士論文を含む 30 単位で済むところを、彼らは 42 単位も取得しなければなりません。二年間のうちに、総合日本語、B J 教育、いしかわ金沢学、日本ビジネス教育、企業研究、技術系とビジネス系二種類のインターンシップをこなしていきます。それゆえ、特別コースの B J 教育は、夏期休暇期間中 5 週間と翌春の休暇期間中 7 週間に「短期集中型」で実施せざるをえなくなりました。

### 「続きは、次回に金大で」、ということに…

問題は、短期集中型 B J 教育をどのように実施し、その中身がどうなっているかだと思います。しかし、それを今ここで書き始めたら、おそらく STJE 誌に報告論文を一本書くのに等しくなってしまう。

幸いにも、次回の第 11 回 STJE 研究討論会が 2009 年 3 月 7 日に金大自然科学本館を会場として開催されます。ですから、「この続きは研究討論会の場で」と、STJE の会員諸氏に宣言することで、この文章を締めくくらせていただきたいと思います。